



2018年9月27日
帝都自動車交通株式会社

＜サービス名称変更のお知らせ＞
提携配車アプリ「全国タクシー」の名称が「JapanTaxi」に変更
2018年9月12日(水)より

帝都自動車交通株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:篠崎敦)は同社が提携している JapanTaxi 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川鍋一朗 以下 JapanTaxi)のタクシー配車アプリ「全国タクシー」アプリは2018年9月12日(水)より名称を「JapanTaxi(ジャパンタクシー)」に変更しました。



■配車アプリ「JapanTaxi」について

「JapanTaxi」アプリは、2011年12月にサービスを開始した日本最大のタクシー配車アプリです。現在、全国47都道府県のタクシー台数の約30%にあたる約70,000万台とネットワークを持っており、多言語対応(英語・中国語・韓国語)、クレジットカードやQRコードによるキャッシュレス決済などを搭載し、タクシーの利便性を高めています。

今回の名称変更の背景は、2020年に向けて公共交通であるタクシーの移動事情が大きく変化していくことや、グローバル展開を見据え、より幅広いお客様にわかりやすいサービスを提供すべく、アプリ名を「JapanTaxi」に変更しました。

■当社の配車アプリサービスの拡大

当社は2013年5月、お客様の利便性向上のためスマホ専用タクシー配車アプリ「ココきて・TAXI」を開発し、京成グループタクシー・私鉄協と共同運用しています。続く2017年4月にはインバウンド対策として「ココきて・TAXI」の英語版「COME ON TAXI(カモンタクシー)」のサービスを開始しました。タクシー業界もIoT化が進み、各社が配車アプリを導入するなど、今では都内を中心にスマホアプリでの配車が増加しており、この変化は国内のみならず海外でも同様になっています。このことから、同年10月にはアウトバウンド対策としてニューヨーク市イエローキャブの主要スマホ配車アプリであるARRO(アロ)へのリンクサービスを開始し、現在当社が展開している配車アプリは約95,000人がダウンロードしています。このたびの名称変更となる「JapanTaxi」は、2017年12月に当社が提携先であるJapanTaxi株式会社に出資したことでサービスを開始しました。

今後も帝都自動車交通グループは、お客様にタクシーの利便性を広げるべく、様々なサービス向上に向け邁進してまいります。

以上